

NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

2016 年度事業報告書

2016 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日まで

1. 2016 年度 事業を実施して

2016 年度から事業年度が改定されたフリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、1 月～12 月を 1 年間の事業年度と定め、ここではその期間に取り組んだ事業をご報告いたします。

2016 年度のハイライトとしては、伊藤菜々美と石田由香理の 2 人を新たなスタッフとして迎え、事業を展開したことがまずあげられます。FTCJ のミッションの一つである「『子どもは世界を変える力がない』という考えから子どもを解放する」を達成するために、学生時代から FTCJ の活動に関わり、カナダのフリー・ザ・チルドレンでスタッフとしての業務実施経験や企業での勤務経験を活かし、更なる「子ども活動応援事業」及び「アドボカシー事業」の拡充のため、伊藤菜々美をスタッフに迎えました。その結果、様々な地域や学校やでの出張講演、ファシリテーターの育成、日本とカナダで開催するリーダーシップトレーニングキャンプ、フィリピンの支援先を訪問し現地の子どもと触れ合いながらボランティアを体験するスタディツアーを通じて、子どもや若者が主体的に社会問題に取り組む環境作りに取り組みました。

FTCJ のもう一つのミッション「貧困や児童労働から子どもを解放する」を実現するため、学生時代に FTCJ のフィリピンスタディツアーに参加したことがきっかけで、フィリピンの視覚障害者未就学問題について国内外で研究を重ね、フィリピンで NGO の駐在職員としての経験を持つ、石田由香理を 4 月より本事業の主担当とし、4 月から「フィリピン障害者支援事業」を立ち上げ新しく事業をスタートしました。新事業立ち上げに伴い資金調達キャンペーンを 9 月以降に行ったところ、多くの方がご寄付にご協力下さりました。特に、Readyfor というクラウドファンディングを通じた寄付キャンペーンでは、新しい寄付者の方や組織の方々となつなげることができ大変励みになりました。このつながりは資金的なことだけでなく、事業を展開するうえでも質の良い効率的な事業展開に活かしていけることと思ひ、2017 年度以降の事業実施につなげていきたいと考えております。

その他の大きな動きとしては、4 月 14 日以降、何度も大きな揺れに襲われた熊本に対し、緊急復興支援を行いました。避難所での食料品や生活用品を支給する支援物資の提供と、度重なる余震で不安な状況に置かれている子どもの状況を把握し、子どもたちの心のケアにつなげる「くまモン」のぬいぐるみを渡しながらかみ守る活動「くまモン」プロジェクトを行いました。支援物資の提供については、長年団体の理事として活動する永野恵理の呼びかけや熊本で活動するメンバー等が主導し、多くの方々のご協力で実現しました。また、被災した入院中の子どもや保育園、幼稚園に通う子どもたちへの心のケアにつながる「くまもん」プロジェクトについては、FTCJ 熊本グループを立ち上げた津田美矩さんやサポーターとして活動する岩坂省吾さんなど熊本の仲間を通じてのネットワークと協働することで行うことができました。

2016 年度を振り返り、多くの新しい方々との出会いがいあり、新たなご協力を頂いた御陰で活動に取り組みしたこと、同時に、今までに繋がっていた方々からの更なるご支援やご協力があったからこそ、事業を実施できたこと痛感しております。ご協力下さった皆様に改めてお礼申し上げます。そして、多くの方と連携しながら、団体のビジョンの実現に向けた質の良い事業活動と組織運営を進めていく所存です。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

代表理事 中島早苗

2. 2016 年度 事業活動報告

1) 子ども主体事業

活動	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
子ども代表委員	全ての子どもメンバーが安心して楽しく活動できる環境づくり。地方と活動チームや、新しいメンバーと活動チームの仲介の活動を行う。	—	—	—	—
チーム活動	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。活動チームに所属する子どもメンバーに、グループの運営の仕方、企画書の書き方や、電話のかけ方、プレスリリースやチラシの作成など広報について日々サポートを実施。 【活動チーム】フィリピンチーム(チョコレートプロジェクト)、インドチーム、アンバサダーチーム	通年	主に事務所	3人	チーム所属 メンバー 36人

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割・活動内容

- 国内の子どもが、世界の開発途上国で見られる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
- 国内外の子ども権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。
- 熊本緊急支援—特別支援

【活動ご協力のご紹介】

◆寄付協力: 株式会社チャンピオン美容室(東日本大震災支援)

◆助成協力: ベネッセ子ども基金(くまもんプロジェクト)、株式会社チヨダ(熊本緊急支援)

活動	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
子ども活動家育成	FTCカナダが行うTake Action Camp(夏にトロントで実施されている子ども・若者向け1週間のリーダーシップトレーニング・プログラム)に日本の子ども若者が参加できるよう企画運営。2週間プログラムを初めて実施。	7/23 ~8/8	Toronto 郊外, Me To We Leadership Centre	2人	2人
	Take Action Camp Japan の企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ合宿型ワークショップ。春は2泊3日、夏は3泊4日で実施。	5/3~5 8/16~19	野毛青少年交流センター／手賀の丘少年自然の家	6人	55人 (うちユースファミリーリーダー9人、スタッフ2人)
メンバー活動サポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報を定期的に取り、電話やメール、オフィスでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。ウェルカムデーを毎月1回開催。	通年	主に事務所	3人	全国のメンバー 1,500人
	学校や地域のグループ活動のサポートの実施。また、各地の学校・グループの活動によって約13万円の寄付が集まった。	通年	主に事務所	3人	全国のメンバー 1,500人
熊本緊急支援	熊本で被災した方々、熊本にいる仲間を応援するため、MARIA プロジェクト主催の『関東から10トントラックいっぱいにして☆熊本のママたちへ安心安全の食べ物をおくろう!』プロジェクトに賛同し、現地へ届ける物資購入費、輸送費の寄付や物資を集めた。熊本市立慶徳小学校をメインに、集めた救援物資や、アレルギーに配慮した食品の支給などを行った。	4/21 ~4/22	千葉、熊本	3人	熊本市立慶徳小学校や その他避難所
	熊本で震災後入院している子どもたちが、少しでも安心して過ごせるように、くま蒙のぬいぐるみをプレゼントする一般社団法人ドリーム・ラボ主催のくま蒙プロジェクトに賛同し、ぬいぐるみの購入費やその他事業にかかる経費の寄付を集め事業実施。	5/25 ~12/31	熊本	2人	熊本機能病院、子ども発育支援センターえるびあ、わんぱく保育園 300人

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働し FTCJ のビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2016 年度参加・構築したネットワーク>

- ・JNNE(教育協力 NGO ネットワーク) : 開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行います。ネットワークで行うキャンペーン「世界中の子どもに教育を」キャンペーンにも 2016 年度も運営委員として参加しました。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界の EFA(万人のための教育)運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしています。
- ・児童労働ネットワーク(CL ネット) : 児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・日比 NGO ネットワーク(JPN) : フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。イベントの開催や外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。
- ・その他非営利組織への会員登録や他団体との協力
より良い事業運営のため JANIC(国際協力 NGO センター)、DEAR(開発教育協会)などのネットワークに参加しました。

ネットワーク名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
JNNE / 世界中の子どもに教育をキャンペーン	4月26日～5月31日にかけて途上国の教育の現状や教育援助の不足について学ぶ授業が実施され、47都道府県の764校・グループ、56,267人が参加した。	4月～7月	学校、事務所	1人	56,267人
	5月25日、衆議院第一議員会館で、7年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催した。当団体のメンバーの高校生7名が「先生」、国会議員5名(ほか代理6名)に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行った。JNNEからは NGO の提言などを伝えた。		議員会館、事務所	1人	19人
	7月20日、牛尾滋国際協力局参事官地球規模課題担当と面会し、日本で「世界一大きな授業」に参加した56,267人を代表して、全国から寄せられた1,146通(約7,000人分)の「首相・外務大臣への手紙」を手渡した。				
CL ネット	5月5日～7月7日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2016」を開催。情報発信は Facebook や Twitter 等の SNS を中心に行った。また、レッドカードを掲げて写真を撮影し、同時にアクションを表明する「レッドカード+1 アクション」と名称を変え参加を呼びかけ、参加者は9,518人となった。	5月-7月	全国	2人	15万人
	5月13日～17日には、2014年にノーベル平和賞を受賞したインドの人権活動家カイラシュ・サティヤルティさんが来日し講演会やイベントを行いました。	5月13日～17日	全国	2人	680人
	2008年から児童労働への取り組み強化を日本政府に求める署名活動を行っており、キャンペーン期間中に2015年で集めた署名を6月14日に厚生労働省・塩崎恭久厚生労働大臣へ、6月27日には文部科学省・馳浩文部科学大臣へ提出し、加えて5月に作成した「世界から児童労働を終わらせるための政府への提言書」も提出し、要請を行いました。	6/14、6/27	東京	1	51万人
	6/5(日)、大阪の中心ストリートの御堂筋にて、「児童労働反対世界デー(6/12)」に合わせたキャンペーン「めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク2016」をFTCJ主催で開催しました。	6/5	大阪	2	30名
日比 NGO ネットワーク	フィリピンのより良い開発支援のための NGO・NPO 間での情報交換や、学びあい、及び外務省や企業との連携のためのネットワーク。代表の中島早苗が運営委員を務めている。日比の子どもやユースを主な対象として、フィリピンの貧困に直面する子どもたちが抱える問題を学び解決に向けて考えるフォーラムを開催し、フィリピンから活動家3人を招聘し、スタッフ参加者を含め150名が参加した。	通年	事務所、東京	5人	フィリピン社会全体、フィリピンを支援する日比 NGO (イベント150人)

4) アドボカシー事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的: 国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人に知ってもらうことで問題解決につなげる。主に関東と関西で事業を展開しています。

内容: ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版、資料開発、物販(フェアトレードチーム)、イベント実施、スピーカー派遣など

1) スピーカー派遣・ワークショップ及びイベント実施活動

■スピーカー派遣(67回、55校訪問、参加・対象人数: 7,580人)

日時	講演先 学校・企業・団体名	場所	参加・対象人数	講演テーマ・内容
2016/1/18	神奈川県総合高校	神奈川県	80人	児童労働シミュレーションカードゲーム、FTCJについて
2016/2/4	桃山学院中学校高等学校	大阪府	10人	世界の貧困問題に対して、日本にいる私たちができることを考えよう
2016/2/5	神奈川県立有馬高校	神奈川県	1年生 38人	児童労働についての理解を深め、高校生の自分たちに何ができるかを考える
2016/2/6・7	ワン・ワールド・フェスティバル	大阪府	150人	ブースでの団体活動紹介、貧困や児童労働、フェアトレード紹介、貧困解消のためにできること
2016/2/15	日本医歯薬専門学校	東京都	37人	国際協力について
2016/2/23	横浜市立藤の木中学校	神奈川県	全校生徒 300人	自分たちにできることを考える。
2016/3/5	伊丹ミモザ国際交流デー講演会	兵庫県	一般 60人	女性の連帯と地位向上を願い世界の女児をめぐる問題や解決策について考える。
2016/3/15	文京区立音羽中学校	東京都	90人	“世界の子どもは今を知る、考える、行動する、マラサさんの事例についても学ぶ。
2016/3/17	板橋区立徳丸小学校	東京都	99人	国際理解・キャリア教育
2016/4/18	東京あけぼのロータリークラブ	東京都	20人	子どもの奉仕活動を援助するために大人に何ができるか。
2016/5/7	横浜市立平楽中学校	神奈川県	1年生 35人	児童労働シミュレーションカードゲーム・Gift+Issue = Change!
2016/5/13	上智大学	東京都	180人	子どもの権利条約とFTCJ
2016/5/14	法政大学	東京都	30人	世界の子どもたち・家族ゲーム
2016/5/24	横浜市立岩井原中学校	神奈川県	全校生徒 330人	児童労働・ボランティア活動について
2016/5/27	立命館宇治中学校・高等学校	京都府	3年生 60人 グローバルシティズンシップ	フィリピンにおける貧困問題、児童労働、高校生にできること
2016/5/30	栃木県益子芳星高等学校	栃木県	1年生 160人	児童労働シミュレーションカードゲーム、Gift+Issues, FTCについて
2016/6/1	フィリピンスタディツアー報告会	東京都、大阪府	大阪 20人 東京 15人	フィリピンスタジアに参加した参加者の感想、報告
2016/6/2	神戸女学院大学	兵庫県	2年生 80人	NGO NPO 論

2016/6/6	栃木県益子芳星高等学校	栃木県	2年生 160人	世界の子どもたち・貧困脱出ゲーム
2016/6/9	神戸女学院大学	兵庫県	3年生 北川ゼミ 25人	【学外講師セミナー】インド児童労働問題 NGO「フリー・ザ・チルドレン」
2016/6/10	川口市立県陽高等学校	埼玉県	全校生徒 480人	児童労働シミュレーションカードゲーム、 Gift+Issues,FTCJについて
2016/6/14	栃木県立小山城南高等学校	栃木県	2年生 200人	世界の子ども・児童労働について、 クレイグストーリー、こどもだからこそ出来る こと
2016/6/14	栃木県立小山城南高等学校	栃木県	英語部 19人	児童労働シミュレーションカードゲームゲ ーム世 こどもだからこそ出来ること
2016/6/15	聖ヨゼフ学園高等学校	神奈川県	2年生 48人	世界で起きていることに目を向け、自分に 出来ることを考える
2016/6/20	大阪府立能勢高校	大阪府	1年生 60人 SG基礎知識講座	SG基礎講座(世界の貧困の中にいる子ども について考え、日本にいる私たちとの関 係性について学ぶ)
2016/6/22	大阪府立能勢高校	大阪府	2年生 15人 SGHクラス	SGHコースの生徒で、夏にモンゴルに行く 生徒対象。世界の児童労働、特にモンゴル の児童労働や貧困、マンホールチルドレン やFTCJの支援について話す
2016/6/23	相原市立相原中学校	神奈川県	全校生徒 650人	クレイグストーリー・FTCJの子ども活動に ついて
2016/6/24	千葉市立幸町第三小学校	千葉県	6年生 120人	ギフト+イシュー=チェンジ 世界の教育の現状について学んだあとで、 各自で課題設定をする前に、様々な事例を 聞いたりワークショップに取り組んだりする ことで課題設定のイメージを広げる。
2016/6/28	川崎市立宮内中学校	神奈川県	23人	児童労働とフェアトレードの現状について学 び、「私たちに何が出来るか」を考える。
2016/6/29	西宮市人権教育推進課 人権フォーラム	兵庫県	PTA 70人	「過酷な労働を強いられる世界の子供たち を救おう！」
2016/7/1	立命館宇治中学校・高等学校 ～人身取引問題～	京都府	25人	人身取引反対世界デー直前イベント(マー リン講演会)
2016/7/2	フィリピンから来日した当事者と 考える 日本にもあった!?「人身取 引問題」とは?	東京都	60人	Light House × FTCJ 人身取引世界反対デー直前イベント
2016/7/2	立命館守山高校	滋賀県	160人	子どもたちの現状と、貧困削減のひとつと して、フェアトレードという取り組み、みんな でできるアクション
2016/7/2	東京都町田市立真光寺中学校	東京都	3年生 25人	日本の文化・伝統を知り、世界とのつながり を考えよう。世界の現状
2016/7/3	「元ストリートチルドレンが語る開 発途上国の子どもたち～フィリピ ンの現地リーダーを招いて～」	東京都	150人	JPN 主催イベント「フィリピンの子どもをめぐ る問題を日比の若者で考えよう」
2016/7/4	神奈川県立神奈川総合高校	神奈川県	3年生 50人	英語による体験型ワークショップを通じて、 人権問題、貧困問題、労働問題についてよ り理解を深めるような講座
2016/7/9	立命館守山高校	滋賀県	3年生 120人	子どもたちの現状と、貧困削減のひとつと して、フェアトレードという取り組み、みんな でできるアクション

2016/7/13	大阪市立南港桜小学校	大阪府	6年生 60人	10代でFTCを立ち上げたクレイグストーリーと日本で活動を始めたきっかけ。児童労働をなくすため小学生にできることを考える
2016/7/14-15	横浜サイエンスフロンティア高等学校	神奈川県	240人	足元を見つめながら世界に対して広い視野を持つため「子ども」とは何かを先進国から考えつつ、世界の子どもの状況を考える。
2016/8/4	JICA 関西	大阪府	45人	国内外の貧困問題について考えられるWS
2016/8/27	加藤学園暁秀高等学校・中学校	静岡県	中学3年生・高校1年生 53人	ワールドマップ・児童労働シミュレーションカードゲーム、Gift+Issues
2016/9/9	東京都立世田谷総合高等学校	東京都	2年生 40人	セーフスペース、人生の川
2016/9/13	千葉県立印旛明誠高等学校	千葉県	1・3年生 320人	国際理解教育
2016/10/1	日本子どもNPOセンター主催セミナー	東京都	40人	児童労働と日本にいる私たち
2016/10/1	グローバルフェスタ	東京都	220人	ブースでのFTCJ紹介、フィリピンチーム発表・フィリピン障害者教育支援事業紹介
2016/10/7	東京都立世田谷総合高等学校	東京都	2年生 40人	人生の川、ワールドマップ
2016/10/14	東京都立世田谷総合高等学校	東京都	2年生 40人	児童労働シミュレーションカードゲーム
2016/10/15	世田谷区立旭小学校 PTA	東京都	40名	世界も問題を知り、家庭で活かせるワークショップの実施
2016/10/25	東京都立世田谷総合高等学校	東京都	3年生 20人	児童労働シミュレーションカードゲーム、団体紹介
2016/10/28	東京都立世田谷総合高等学校	東京都	2年生 40人	募金活動準備、募金活動、振り返り
2016/10/29	深谷市立深谷中学校	埼玉県	3年生 158人	総合学習「国際理解」のスタートとして。貧困・児童労働なども問題に関しても目を向けさせたい
2016/11/4	東京都立世田谷総合高等学校	東京都	2年生 40人	Gift+Issues、アクションプラン作成
2016/11/12	東京都世田谷区立桜丘中学校	東京都	1年生 150人	児童労働シミュレーションカードゲーム、Gift+Issues
2016/11/24	神奈川県立弥栄高等学校	神奈川県	1年生 80人	児童労働シミュレーションカードゲーム、Gift+Issues
2016/11/30	大阪府立能勢高校	大阪府	2年生 12人 (うち、3人を特に指導)	SGH 研究発表会に向けたプレゼン指導
2016/12/1	横浜市立泉が丘中学校	神奈川県	全校生徒 465人	いじめ・偏見のない世の中が、すべての人にとっての幸せ
2016/12/3	大阪府立能勢高校	大阪府	2年生 12人 (うち、3人を特に指導)	SGH 研究発表会に向けたプレゼン指導
2016/12/6	青森南高等学校	青森県	1・2年生 79人	コミュニケーション能力や国際理解力を高めるワークショップ
2016/12/12	千代田女学園中学校・高等学校	東京都	中学1年生 19人	世界の子供たちの現状紹介と私たちにできることを考えるきっかけとなるように。
2016/12/13	川村中学校・高等学校	東京都	全校生徒 502人	12月講堂朝礼「世界の現状について」教育を含めた世界の現状と、私たちにできることは何かを考える。
2016/12/11	CRC フォーラム大阪での分科会 貧困脱出ゲーム～君の権利は守られているか～	東京都	45人	貧困脱出ゲームWSを通じて、世界の格差を知り、貧困からぬけだすことの難しさを体感する。その際、貧困の中での生活ではどんな権利が奪われているかを考える。

2016/12/11	フィリピンの視覚障害者の現状と、障害者との共生社会について考える	兵庫県	20人	フィリピンの視覚障害者の現状と、障害者との共生社会について考える
2016/12/13	大阪暁光高等学校	大阪府	25人	障害者との共生社会とフィリピンの視覚障害者の教育事情について
2016/12/14	立命館宇治中学校・高等学校	京都府	高校3年生 60人	障害者との共生社会とフィリピンの視覚障害者の教育事情について
2016/12/15	東京学芸大学附属世田谷中学校	東京都	1年生 160人	新しい気付きのきっかけ、意見を述べられる場
2016/12/22	明治学院大学 法学部	東京都	3・4年生 200人	貴団体の設立経緯等の概要と、特に発展途上国の子供たちの自立を促す支援活動について、支援を行うに至った背景の問題、具体的な支援活動の内容
2016/12/23	ワンワールド・フェスティバル For Youth	大阪府	80人	ブースでの団体活動紹介、貧困や児童労働、フェアトレード紹介、貧困解消のために中高生にできること
7回	ファシリテーター養成プログラム	FTCJ オフィス	41人	ファシリテーションの基礎 会議ファシリテーション実践 キャンプファシリテーション実践

■事務所訪問対応

日時		場所	人数	講演テーマ・内容
24回	事務所訪問対応	FTCJ オフィス	100人	月2回のボランティアデーや事務所訪問の対応

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力: 日本財団、日本労働組合連合会 愛のキャンパ、世田谷区国際平和交流基金、モバイルコミュニケーション・ファンド、電通育英財団、庭野平和財団

2) ニュースレター・メルマガ発行、団体ホームページ更新作成、資料教材開発・出版、物販活動

活動名	内容	作業実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
ニュースレター・ アニュアル レポート発行	2015年度アニュアルレポート NL 38号特集: フィリピン学校建設事業スタート NL 39号特集: フィリピンスタディーツアーレポート NL 40号特集: 障害者の可能性を閉ざさない フィリピンたったひとつの盲学校の挑戦	3月 3月 7月 12月	東京 事務所	2人	各号 600部 印刷
メルマガ発行	月に2回発行	通年	事務所	2人	国内外の人々 約3,000人
ホームページ 更新・作成	webサイト随時更新: 1日平均715人程度アクセスあり。 ニュース・レポート: 1日平均210人程度アクセスあり	通年	事務所	2人	国内外の人々
資料開発・ 出版	団体パンフレットの改訂、学校・教員向け冊子の改定、ワークショップ教材の改訂。	通年	各イベント等	3人	子ども、学校、一般
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	事務所	2人	子ども、一般

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力: 日本財団(教員向け活動資料ガイドブック)、年賀寄付金(活動資料ガイドブック)

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
CCD マクタニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金やその他指定寄付を使って、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと CCD が支援する貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援を実施。具体的には学校に通うために必要な制服や文房具、ワークショップ教材費や、食費の提供、健康医療支援プログラムのために支援金を活用した。また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいる。	通年	マクタニール養護施設で生活する 22人の子ども 貧困家庭の子ども 10人

5) 海外自立支援事業 ・ 緊急支援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的: 貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども(特に、支援地域のフィリピン、インド、ケニアなど)の権利が守られ教育を受けられ自立できるよう支援する。

内容: フィリピン、インド、ケニアなどの開発途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。

<フィリピン支援事業>

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
先住民の子どもの教育支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金と寄付、助成金を使い、ミンダナオ島の台風被害にあった先住民ビナンジャン村に暮す中等教育を受ける年齢の子どもたちを対象にした通学のための奨学金サポートを実施。	通年	ミンダナオ島 ディバワオン族 子ども 20人
ミンダナオ島 台風被災地 公立学校農業科 応援事業	2012年12月にフィリピン南部ミンダナオ島を直撃した大型台風ポーファにより、甚大な被害を受けたミンダナオ島タバオ・オリエンタル州バガンガ地方バクリン村において、持続可能な農家に育つよう公立学校での農業科の拡充支援事業を実施。具体的には、畑や花壇、納戸の設置、農機具や工具の購入など。	7月～ 12月	農業科及び教員 45人
レイテ島台風被災地 公立小学校建設事業	2013年11月にフィリピン中部ビサヤ諸島を襲った大型台風によって校舎が破損した小学校に対し、自治体や教育省と連携しトイレ施設を併設し教室を建設した。教室内に必要な備品類や教室前にコンクリート土台の設置も行った。2016年6月に校舎が完成し、7月に竣工式が実施され、代表の中島と寄付協力者の桃山学院高校の先生方が出席した。	1月～9 月	被災小学校に通 う子どもと教師 240人
性虐待や刑務所から救出された子ども教育支援	指定寄付やフェアトレード商品の収益によって、フィリピン・ルソン島サンバレス州オロンガポに位置する現地パートナー団体ブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、貧困地域への自立支援活動の実施。	通年	子ども約 200人
障害者支援事業	フィリピンの視覚障害者が自立のために教育を受けられるよう基礎教育及び中等教育を受けられるよう、フィリピン国立盲学校と連携し事業を行う。本年度より事業開始のため、本年度は現地では調査や討議、ネットワーク構築に従事。国内ではフィリピンにおける視覚障害児童の課題や現状を伝える講演会や資金調達に取り組んだ。	4月～ 12月	フィリピン国立盲 学校生徒 150人

【活動ご協力のご紹介】

◆活動費助成協力: 一般財団法人まちづくり地球市民財団(ミンダナオ島台風被災地公立学校農業科応援事業)

◆寄付協力: 桃山学院高校 SBS(レイテ島台風被災地公立小学校建設事業)

<インド支援事業> FTCJでは、下記2つの地域にて貧困地域の子ども支援事業を行いました。

1. 西ベンガル州 貧困下におかれた子どもの救出・自立支援活動

◆事業目的: 貧困が原因で権利を奪われ、児童労働などの過酷な環境に置かれているインド西ベンガルの子どものが、FTCJの支援を通して貧困状態から助け出し、安心して健康的な子ども時代を送り、自立して生活できるための教育を受けられるよう支援します。

◆パートナー団体: Center for Communication and Development (以下 CCD)

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
CCD マクタニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金やその他指定寄付を使って、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと CCD が支援する貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援を実施。具体的には学校に通うために必要な制服や文房具、ワークショップ教材費や、食費の提供、健康医療支援プログラムのために支援金を活用した。また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいる。	通年	マクタニール養護施設で生活する 22人の子ども 貧困家庭の子ども 10人

2. ラジャスタン州 貧困農村地域の子どもへの支援活動

◆事業目的: インドのラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方貧困農村地域で生活する子どもたちが、子どもの権利が守られ安全で健康な子ども時代を送り、自立に向け教育を受けられるよう支援する。

◆事業実施体制: FTCJ/WE ネットワークにより実施(WE Charity インドとの連携協力事業)

◆支援地域について

支援事業地: ラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方カルタナ村

支援地背景: 支援地域の村の人口は約 1400 人で、様々な少数民族がおり、人々は長い間社会から隔離され、取り残されてきた。村は深い森と高い丘に囲まれており、土地は平らではなく、電気やガス、水道などのライフラインは各家庭にひかれていない。半乾燥地帯のため土地を耕作する事が困難なため、村人の多くはやせた土地に住んで細々と農業を営んでいる。農業だけでは収入があまり得られないので出稼ぎ労働に従事している家族も多く見受けられる。

支援地課題: 統計によると支援地域では栄養失調と不衛生な環境によって 2 割弱の幼児が 5 歳までに命を落としており健康・保健面で問題があることが分かった。また、地域特有の問題として土地の大部分を政府が所有しており、25%だけが人々が耕作する為に残された土地だが岩と石が多く半乾燥地帯のため農業には厳しい条件となっており、慢性的な水不足及び食糧不足により、住民は悩まされている。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
カルタナ村自立支援—教育支援	2016年度からの新規事業。村の子どもが通える安全で健康的に授業が受けられる小学校施設が不足しているため、小学校建設を2016年度から実施した。教室の建設のほかに、学校施設敷地内に、トイレと手洗い場を同時に設置するよう計画中である。また、子どもが基礎教育を習得することの大切さを村人全体に理解してもらうための家庭訪問やセミナーを開催した。	通年	カルタナ村の人々1400人

【活動ご協力のご紹介】◆寄付協力:株式会社チヨダ

<ケニア支援事業>

貧困農村地域 自立にむけた収入向上支援

◆**事業目的**: 雄大な自然に様々な美しい野生生物がいることで有名なケニア。近年、経済は急速な発展を遂げていますが、未だに約26%の15歳未満の子どもが児童労働に従事しているという。フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、ケニアの子どもが貧困や児童労働から脱却できるよう1999年から現地で支援事業に取り組んでいます。

◆**パートナー団体**: FTC/WE ネットワークにより実施(WE Charity ケニアとの連携協力事業)

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
ケニア自立支援—収入向上支援	ケニアの農村貧困地域で暮らす女性が知識や情報やスキルを身につけ、他のコミュニティメンバーと協力し、子どもに頼ることなく、生計維持のための収入を得られるよう支援するためのプログラムを実施した。具体的には、収支を管理するための読み書きや会計知識の習得のためのセミナーや、マイクロファイナンス(小規模融資)を受けまわしていくためのグループでのお金の管理の仕方について貧困家庭の女性や男性が知識を深められるような研修を実施した。	通年	貧困農村地域の女性、男性 1400人

<草の根・人間の安全保障無償資金協力 フォローアップ事業>

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
草の根・人間の安全保障無償資金協力 フォローアップ事業	(外務省委託事業) 外務省が ODA の一環として実施している草の根・人間の安全保障無償資金協力のフォローアップ事業として過去に実施したまたは実施中の案件の現状モニタリング、評価をするため、9月19日～24日までモンゴルを訪問しました。教育、医療分野の9つの案件を調査、モニタリングを行い、報告と提言をまとめ報告書を作成しました。	8月～11月	外務省草の根・人間の安全保障無償資金協力実施先9案件

<スタディーツアー事業>

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
スタディーツアー	春休みにフィリピンの支援先を訪問し、現地の子どもや地域の人々との交流や、ボランティアを行うツアーを実施。貧困の中で生きる子どもの現状とその課題を学び、帰国後にその現状を伝えるにはどういった活動をしたらよいかについても考える。ホームステイプログラムも実施。 フィリピン:3月下旬	通年	25人

6)その他

管理部などその他この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

【事務局体制、役割報告】

河本千夏:アドボカシー事業リーダー
 板倉香子:会計・総務
 伊藤菜々美:子ども活動応援事業リーダー(3月～)
 石田由香理:フィリピン障害者支援事業プロジェクトマネージャー(4月～)
 清田健介: 翻訳チーム、広報
 (原元望:育児休暇中、ボランティアサポート)

【理事兼任】

中島早苗:海外自立支援事業・組織運営全般
 出野恵子:事務局長
 伴野保志:個人情報管理システム構築
 藤井裕子:関西での活動

【インターンご紹介】

2016年度は下記のインターンのみなさんが活動を支援担当の事業を担いました。(敬称略・順不同)
 東 愛穂:アドボカシー事業(広報、物販)、子ども活動応援事業(チョコプロ)
 園山明里:アドボカシー事業(広報、物販、イベント)資金調達
 西野彩紀:子ども活動応援事業(広報)
 相馬汐里:アドボカシー事業・子ども活動応援事業(広報、キャンプサポート)
 早川裕也:アドボカシー事業・子ども活動応援事業(教材作成、キャンプサポート)
 バトナサン・バトゲレル:子ども活動応援事業(キャンプ)、海外自立支援事業(モンゴル関連)
 齋藤萌花:子ども活動応援事業(広報)
 本間瑞季:フィリピン障害者支援事業(広報、教材作成)
 太田雛乃:アドボカシー事業(教材作成)

メディア掲載一覧 2016年度(1月～12月)にメディア等などで配信・紹介されたFTGJの活動です。

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	『ビジュアル公民 2015』	児童労働をしている子どもたちの写真と文章を提供しました。
2016年4月～	ワン・ワールド 3	教育出版 中学校英語教科書の単元にてフリー・ザ・チルドレンの活動が掲載
2016年4月～	社会科 公民	清水書院
2016/2/2	YOMIURI ONLINE 大手小町	チョコプロの活動が取り上げられました。

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	—	30人
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・データベース salesforce 研修受講 ・NPO 会計講座	通年	東京	4人
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	4人
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例:事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など(子どもメンバー183人、ユースメンバー86人、ボランティアメンバー登録78人)	通年	東京	3人
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2人
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11人
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5人

2016/4/10	NTT 労働組合機関紙 『あけぼの』	世界一大きな授業や団体について取り上げられました。
2016/4/27	くまにちコム	熊本緊急支援の活動が取り上げられました。
2016/4/27	Shoes Post	株式会社チヨダからのご寄付、熊本緊急支援の活動が取り上げられました。
2016/5/21	朝日新聞	子どもメンバーのインタビューが掲載されました。
2016/5/15	ビッグイシュー日本版	団体に活動や寄附について中島のインタビューが掲載されました。
2016/6/30	毎日新聞 WEB	中島の国際女性デー in 伊丹での講演の様子が掲載されました。
2016/7/12	弁護士ドットコム	フィリピンよりゲストを迎えたイベントやスピーチの内容が掲載されました。
2016/10/8	朝日新聞	子どもメンバーのインタビューが掲載されました。
2016/7/1	ポプラ社 きみが世界を変える なら 世界を改革したこどもたち	クレイグのストーリーが掲載されました。
2016/10/13	点字毎日 活字版、点字版	フィリピン障害者支援事業について、石田のインタビューが掲載されました。
2016/10/14	上毛新聞	石田の講演会が掲載されました。
2016/11/20	まにら新聞	フィリピン視覚障害者支援事業についてフィリピンで発行されている日本語新聞に掲載されました。
2016/12/14	Yahoo! ニュース	石田のインタビュー記事が掲載されました。
2016/12/16	オルタナ S	石田のインタビュー記事が掲載されました。

7) 会議の開催に関して

(1) 総会

通常総会

(ア) 開催日時及び場所

2017年3月12日(日) 下北沢タウンホール第一集会室

住所 東京都世田谷区北沢 2-8-18 北沢タウンホール 2F

(イ) 議題

第1号議案

2016年度 事業報告書(案)と2016年度会計収支決算書(案)に関する事項

第2号議案

2017年度事業計画(案)と2017年度収支予算書(案)に関する事項

第3号議案

2017年度の役員(子ども代表委員と理事、監事) 選任に関する事項

(a) 子ども代表委員について内容の説明を行い協議

(b) 理事会役員の件につき、内容の説明を行い協議

(c) 事務局体制と顧問のご紹介

第4号議案

定款の変更に関する事項

(2) 理事会

第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2016年1月20日 10:00~12:00 当法人事務所会議室

(イ) 議題

①2016年度活動方針、事業計画と予算、スタッフ体制について

②2015年度決算書(仮)説明

第2回理事会

(ア)開催日時及び場所

2016年8月14日 10:00～12:00 当法人事務所会議室

(イ)議題

- ①2016年度上半期中間事業収支活動報告(案)
- ②団体ブランディングの方向性と事務局体制について
- ③来年度以降の理事、アドバイザー候補について

第3回理事会

(ア)開催日時及び場所

2016年10月23日 10:00～12:00 当法人事務所会議室

(イ)議題

- ①FTCJビジョン、ミッション、ロゴ、キャッチフレーズ決定
- ②中長期案の承認
- ③NPO法人の役員の役割情報共有後、FTCJの役員事務局体制を確認
- ④来年度以降役員について
- ⑤Readyfor?クラウドファンディングアプローチ先開拓

第4回理事会

(ア)開催日時及び場所

2016年12月18日 18:00～20:00 当法人事務所会議室

(イ)議題

- ①次年度事業計画案および予算案の承認
- ②次年度理事について
- ③次年度理事・監事見直し
- ④報告事項